

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス イッピー!

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ワンフロアのため、刺激の多さがありパーテーションにより空間を設けている。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		配置基準は満たしているが、非常勤職員が多く不安定な状況もある。	安定的な職員確保を目指す。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		非常勤職員が多く、十分に反映できている状況にない。	もう少しミーティング等の時間を設けていく。
	⑤	保護者等からの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握しているか		○		開設初年度のためすべて反映されていない。	
	⑥	その普及促進につなげているかの会報やホームページ等で公開しているか	○			開設初年度のため、未公表だが本結果は公表予定である。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		感染防止対策、虐待防止（身体拘束）については実施している。また、障害特性について示しているが十分に時間はとれていない。	定期的に研修の機会を設けていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後	○			計画相談や医療・療育・教育機関におけるアセスメント内容を参考にしながら事業所で計画作成をしている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		開設年度で手探り、また個々の子どものニーズ状況により進めている。	計画的に立案できるよう進めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化していないか		○			
	⑬	個別で、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の子どものニーズ、状況を見極めて設定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	○			個々の子どものニーズ、その日のコンディション等を前提に考えている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認		○		十分に打合せできているとはいえない。	ミーティング、コミュニケーションの機会を設けていけるよう工夫する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点		○		十分に振り返られていない。連絡ノート等を用いて共有できるよう工夫はしている。	連絡ノートの活用を続け、コミュニケーションも図れるようにしていく。

	⑰	日々の支援に関して正しい記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につかっているか	○			保護者への連絡帳とサービス提供記録が一对になっている。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○			状況把握はできているが、不十分なためモニタリングの機会を増やしていく。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○					
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者	○				基本的には、児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生	○					
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて			○		受入れを実施していない。	設備、職員体制上今後も受け入れが難しいと思われる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		まだそのような経過はないが、必要に応じて書面等により引き継いでいる。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情				○		まだ、そのような児童はいないが、R6年度成人期のサービスに移行する児童がいるため、適切に引き継いでいく予定である。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて			○			市内にまだ児童発達支援センターが無いが、R6年に開設予定のため連携をしていくことを考えている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○			公共施設（公園等）の外出以外に、今後児童館等を利用する予定としている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○					現在は事業所連絡会に参加しており、今後自立支援協議会に参加予定である。
	㉘	保護者から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○					日常的に連絡帳、必要に応じて電話、面談を通じて共有を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を				○		
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○					

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会や保護者交流の場は未着手となっている。	事業所の取り組み、子どもへの関り等を共有する機会を設けていく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今のところ苦情はないが、常にアンテナを張って細かな意見にも耳を傾けるようにしている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	現在、インスタグラムのみ発信となっているため、今後HPや書面を通じて事業所の情報発信に努めていく。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		必要に応じて地域との関りを進めていく。
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	策定はしているが、周知が不十分である。
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	初年度のため未実施であるが、今後計画的に実施していく。	
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載し	○				
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハットに関しては、十分な協議がなされていないため、今後の対応は必要となっている。	事例を上げながら職員全体の共有を図っていく。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。